

広島県中小企業団体中央会 2016年12月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

12月の出荷量は前月比0.9%増加、前年同月比53.0%増加、売上高は前月比1.7%増加、前年同月比40.4%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成28年11月の全国の住宅着工戸数は85,051戸で、前年同月比6.7%増加、また、季節調整済年率換算値では93.7万戸（前月比4.2%減少）となった。利用関係別では、持家は25,993戸で前年同月比2.7%増加、貸家は38,617戸で前年同月比15.3%増加、分譲住宅は20,127戸で前年同月比1.8%減少となった。なお、木造住宅の着工数は50,628戸で、前年同月比6.6%増加となった。

住宅着工の動向は、前年同月比で5ヶ月連続の増加となったが、引き続き、今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

こうした全国の動きに対し、広島県内の11月の着工戸数は1,692戸で前年同月比22.3%増加、このうち、持家は521戸で前年同月比2.2%の増加、貸家は757戸で前年比39.2%増加、分譲は414戸で前年比25.8%の増加となった。県全体の住宅着工の動向は、前月の4ヶ月ぶりの減少から増加に転じたが、地域別では広島市が着工戸数875戸で45.8%増加、呉市が143戸で88.2%増加、尾道市が67戸で71.8%となった一方で、福山市が305戸で3.5%減少、東広島市は95戸で19.5%減少、廿日市市は57戸で5.0%減少と地域間でばらつきが見られる。また、ピークを迎えたプレカット部門の先行き不安や、一般の製材部門など、会員、業態によって売上や収益等に温度差がある聞き取り結果となっており、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。木材・木製品

福山木材協同組合

今年の住宅着工は前年比には届かないかもしれないが、まずまずではないかと見ている。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月報告から特に変化はない。

米国次期大統領トランプ氏の政策が自動車業界に与えるグローバルな影響は、予断を許さない状況が続くと思われる。

利益が出にくい昨今、お客様ニーズへ地道に伝えていくのみである。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上は、自動車関連企業を中心に、新車種立ち上げに伴いやや良好である。全体的には各社横ばいの傾向にある。

先行きは、原油価格の高騰等、不安定要素が多い。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

28年12月 3,338m³ (対前年2.42%増加)

28年11月 3,216m³

27年12月 3,259m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

軋鉄鋼協同組合連合会

燃料の高騰が続いており、特にコークスは前回並みの値上げが行われ、秋から比べると燃料費が5割増しとなっている。

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

大口の受注案件が少なかったため、前年同月比10%減少、前月比では5%増加となった。

協同組合三菱広島協力会

広島県西部観音地区のコンプレッサー関係及び製鉄関係の受注が伸び悩み、低操業が続いている。それに伴い協力会社各社も低操業である。

江波地区の航空機組立部門においては、高操業の山は越えつつある。それに伴い協力会社各社の操業も平準化しつつある。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は前月比3%増加、前年同月比変化なしとなった。年末年始需要により、増産傾向にある。輸出物件が多少動いている。国内はスマートメーター以外横ばい傾向にある。

今年も最低賃金が20円も上昇し、経営を圧迫している。取引先に価格交渉をしているが、厳しい状況である。また、残業規制が厳しくなれば就業時間が限られてくるため、受注機会の喪失から、収益機会を失う可能性もあり、大いに経営を圧迫する。配偶者控除が150万円になれば、時間制限をして働いているパートタイマーが減少するため、人出不足の解消に繋がるのではないかと。雇用問題、賃金問題、残業規制など中小企業にとっては厳しい問題が多い。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

12月の国内自動車販売台数は全需が398千台、前年同月比7.6%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。登録車は前年比7.6%増加と5ヶ月連続の前年超え、軽自動車も1.7%増加と24ヶ月振りの前年超えとなった。

マツダ車は11.0%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

アメリカの11月の全需は1,381千台で前年同月比4.6%増加と4ヶ月振りの前年超え。マツダ車は同3.0%減少と4ヶ月連続の前年割れとなった。

欧州の11月の全需は1,398千台で、前年同月比6.5%増加と4ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車は同6.6%減少と4ヶ月連続の前年割れとなった。

中国の11月の全需は2,885千台で、前年同月比13.8%増加。マツダ車は36.7%増加と6ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の11月の海外販売合計台数は112千台、前年同月比3.2%増加と8ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの11月の輸出動向については、輸出台数は前年比9.2%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの11月の国内生産台数は、前年同月比6.1%増加と2ヶ月振りの前年超えとなった。

●輸送用機械器具（造船）

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成28年12月の船舶建造許可実績は3隻76,399総トン（前月5隻256,600総トン、前年同月7隻426,330総トン）であった。なお、3隻とも貨物船で輸出船となっている。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

原材料の高騰により収益性が悪化している。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

全体としてベッドは順調に推移しているが、リビング、ダイニング関係は苦戦している。

各業界の年始の見通しとしては比較的明るいようであるが、家具についてはコントラクト（住宅以外の公共施設や商業施設等で利用される家具）関連は伸びる要素があるが、ユーザー向け（従来の卸、小売を経て消費者に届く家具）は横ばいの見通しである。

昨年末、国立競技場の観客席の一部（7,000席前後）を木製仕様にするとの話があった。是非とも受注がとれるように動きたいと思っている。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

平成28年の国内経済は、雇用環境や企業収益の改善による内需中心の回復が期待されたが、個人消費の伸び悩み傾向が継続しており、景況感は停滞している。

「資材関連」においては、平成29年度の法人企業観測や設備動向において、景気は上向く予想である。東京オリンピックや次回消費税引き上げまでは業界としては概ね安定した推移が見込まれる。

「食品」においては、年末年始は例年程度。外食向けは依然厳しい状況である。

「繊維」においては、11月の実績は良かったが、12月はその反動で対前年比5%程度減少。ネット購入が一般化するなど、購買行動が変化しつつある。

「雑貨」においては、生活雑貨の売上は、ほぼ前年並み。下火だった中国からの受注が回復基調である。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

年末に向け、銅ベースの急騰により電線価格が高騰している。これに伴いVVF（ケーブル）の買い込み需要が多く、供給とのバランスが悪くなってきている。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

12月10日に1店舗新規オープンした。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

国産畳表の販売状況は平年並みで推移している。価格も高値横ばいの状況が続いているが、

年明けには落ち着くものと見ている。しかし、年末は前年並みの受注と配送があり、活況を呈した。

中国産表についても年末は受注、価格ともに前年並みとなった。

いずれにしても全般的に需要が上がってきていないと感じる。業界の先行き不透明感が感じられる。

小売業

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

年末のイベントの日には前年並みか前年以上の集客があった。しかし、商圏内へのドラッグストアの進出以降、売上、客数ともに減少が続いている。

チューリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

12月の売上は、前月比、前年比ともに減少した。組合員の減少と、外部得意先の減少が大きな要因である。その打開策として、入札制度施設への納品を獲得したが、結果としてこれを補う売上の確保は図れなかった。

また、先月まで青果物の高値が続いていたが、12月より急激に相場が下がり、単価面での減少も売上に大きく影響した。また、店舗（当組合の主である中山間地区）でも、今年は暖冬で年末に雪が降らなかったため、街まで遠出される方が多く、街で買い物し、食事をする方も多く、来店客数と売上単価が減少した。特に今年はお飾り（しめ縄など）は、種類が豊富で安価なホームセンターで買い物する傾向が強く、我々食料品小売店で買われなくなったことが顕著に出た年となった。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

12月度の販売実績は前年同月比3.6%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比5.8%減少、BDレコーダー同7.7%減少、音響・車載機器同10.4%減少、冷蔵庫同1.7%減少、洗濯機同6.0%減少、エアコン同2.4%増加、エコキュート同10.2%減少、IHクッキングヒーター同4.8%増加となった。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

暖冬の影響及びイオンモールの増床や廿日市ゆめタウンの影響で売上は前年比減少傾向にある。

呉本通商店街振興組合

当商店街のほとんどの店舗では、年末の大売り出し・セール等は特に実施していないため通行量はやや増えたものの、来店客に大きな変動は見られず横ばいの状況が続いている。

昨年8月に開業したカレー専門店が競争激化による来店客数の伸び悩み等により閉店、また今年9月に期間限定で開店した店舗が閉店した。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比16.5%減少、前年同月比6.5%減少。車検場収入は前月比15.3%減少、前年同月比6.7%減少。重量税・登録印紙の売上は前月比16.6%減少、前年比1.4%の増加となっている。

※2016年4月から12月 9ヶ月間の前年比

車検台数 31台増加、車検収入 198千円増加、登録印紙 3,568千円増加と、上記項目すべて

において前年比プラスとなった。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

大手企業になるほど材料支給の割合が高いため、収益面では厳しくなっている。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

今月の売上は、カーテン工事、壁装工事、敷物工事の3工事単月で前月比2.9%減少、前年比27.3%減少と9月から減少傾向にある。また、年度累計でも4.2%減少と11月から引き続き減少した。

最繁忙期である第4四半期に期待するも不透明な部分が多いが、期待を込めて横ばいと予測している。

福山地区電気工事業協同組合

今月は、前年同月比0.8%増加、前月比29.6%減少となった。新築件数減少に伴い、太陽光発電の設置申請は減少した。

今年4月からはガスの自由化が始まるため、エネルギー業界においては変革の年となりそうである。

神辺建設業協同組合

各自治体の発注工事は年度末を控え、年度内工期などの要因から減少傾向にあり、今後小規模工事主体の案件が増加するものと思われる。

運輸業

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

12月は、前月と比較すると荷物量は増加して、売上高、収益状況ともに好転に向かった。ただし前年同月比に大きな変化は見られず、例年通り年末の駆け込み需要が発生しただけのように思われる。

先月の報告通り原油産油国の減産が今月から実施され、もし原油価格が上昇するようであれば、時間差はあってもいずれは軽油価格も上がり、収益を圧迫するようになると思われるため、ガソリン及び軽油価格の変動に注視が必要である。

広島輸送ターミナル協同組合

燃料価格が上昇しており、収益状況は厳しくなっている。人出不足（ドライバー、作業員）も常態化している。

広島県ロジネット協同組合

12月の荷動きは例年通りで、第3週の20日をピークに増加し、その後急激に減少した。全体的には荷物量は昨年よりやや増加か同程度といった感じで、堅調に動いた。27日以降は落ち着いた動きとなった。

一方、ドライバー不足は依然として深刻な問題となっており、それが車両不足の要因となっている。

軽油価格は世界市場に大きく左右されているが、国内メーカーが値上げを打ち出しているようである。12月は7円/Lの値上げとなり、1月も値上げは続きそうである。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

12月は3年ごとの固定資産評価替えによる標準宅地評価の鑑定評価報酬の部分払いの入金があったため、売上高等は前月比、前年同月比増加となり、業況は好転している。

不動産地価動向は、平地の利便性の高い地域(段原、白島、翠町、旭町、古江、高須、アストラムライン沿線)の住宅地が高い上昇率を示している。